

令和5年度蒲郡市自主防災会リーダー研修アンケート結果について

1 実施日時と自主防災会参加者数について

- (1) 5月 7日 (日) 形原中学校 106人
- (2) 5月14日 (日) 大塚中学校 31人
三谷中学校 81人
- (3) 5月21日 (日) 蒲郡中学校 65人
塩津中学校 39人
- (4) 6月 4日 (日) 中部中学校 70人
西浦小学校 33人

各日とも午前9時から午前11時

自主防災会 (内25名女性) 425人

施設管理者 27人

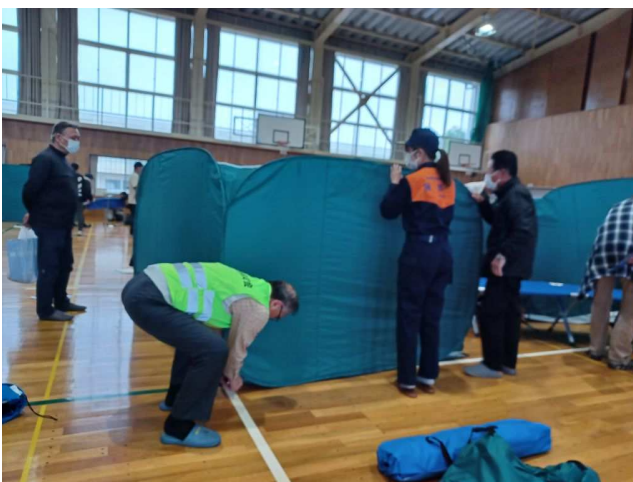
避難所開設担当職員 40人

2 研修内容

(1) 座学 (自主防災組織について、避難所運営について)

(2) 実技 (資機材取扱訓練)

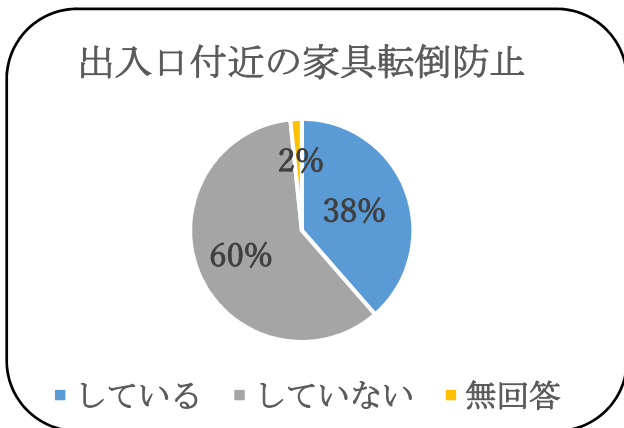
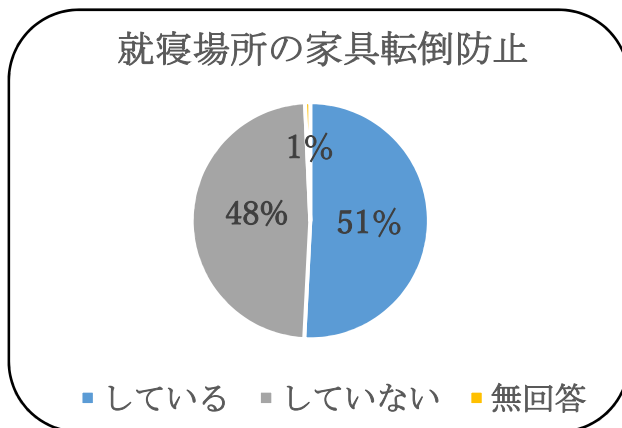
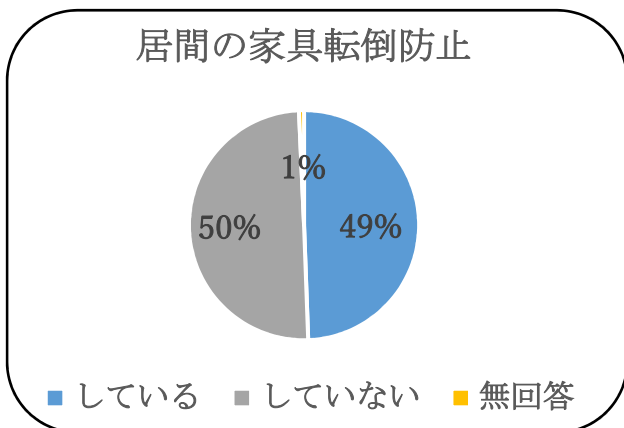
※研修資料については別添



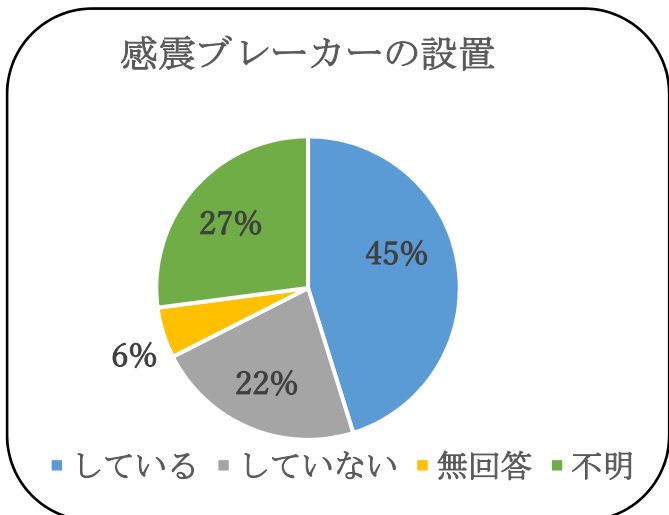
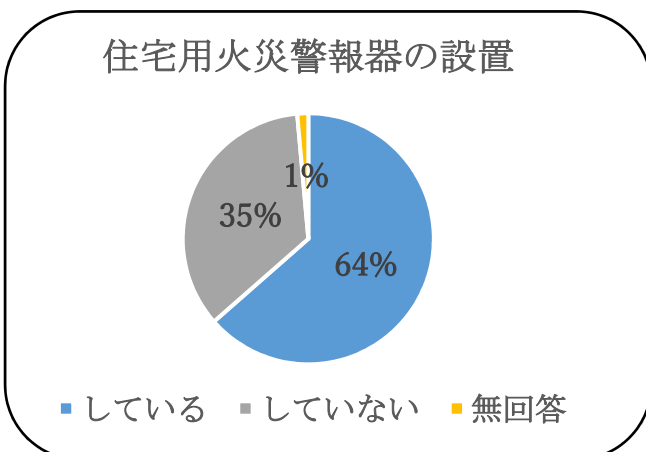
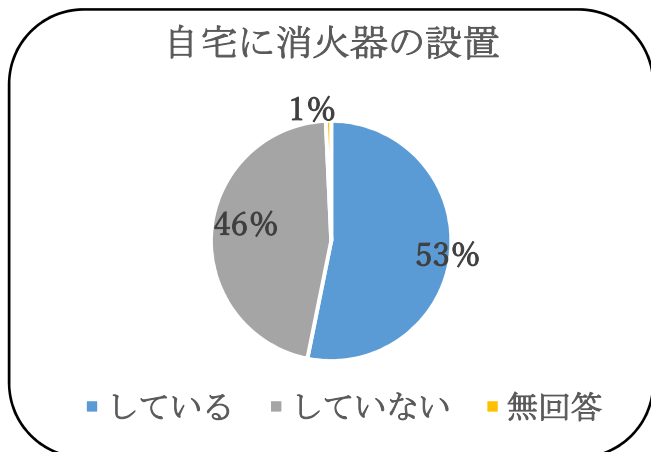
3 アンケート結果

◆地震に対するわが家の安全対策について（アンケート回答者425人）

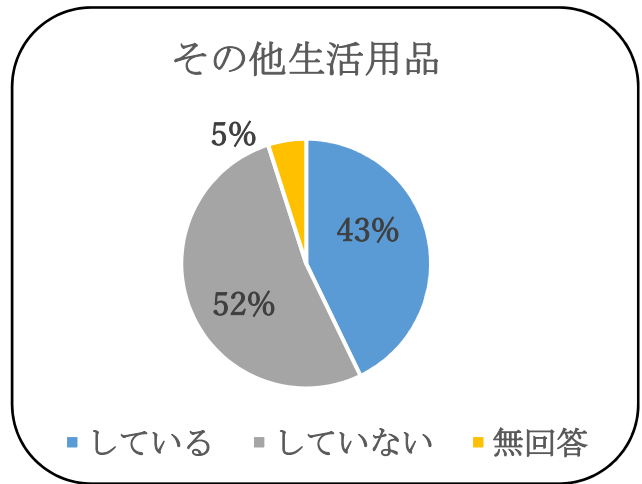
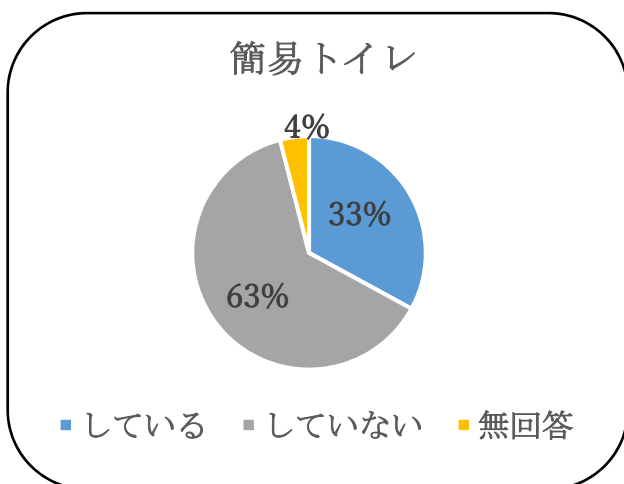
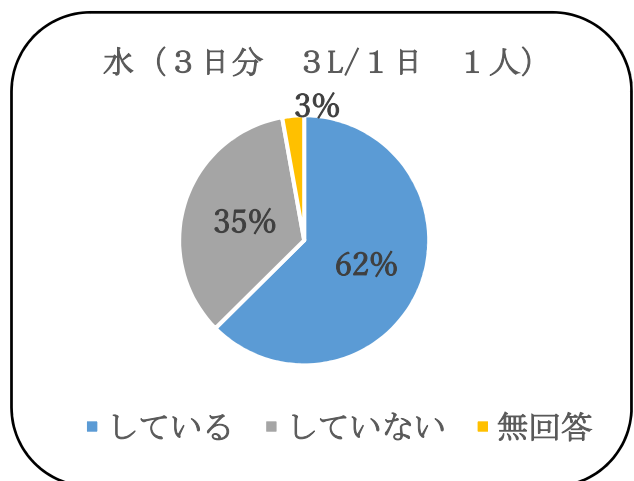
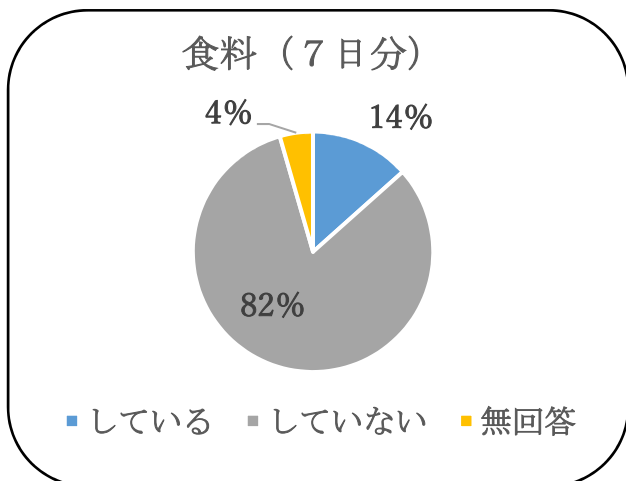
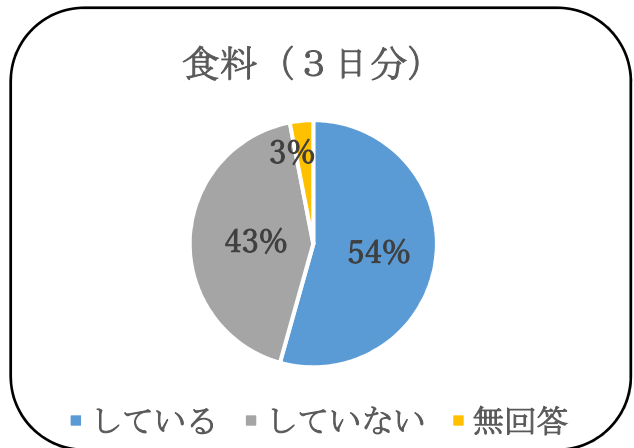
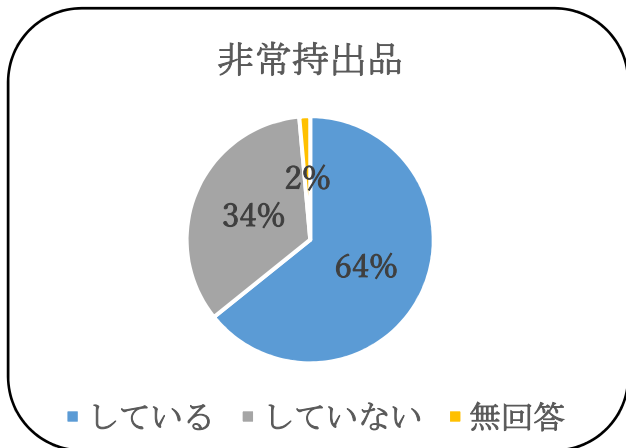
(1)家具の転倒防止



(2) 火災対策

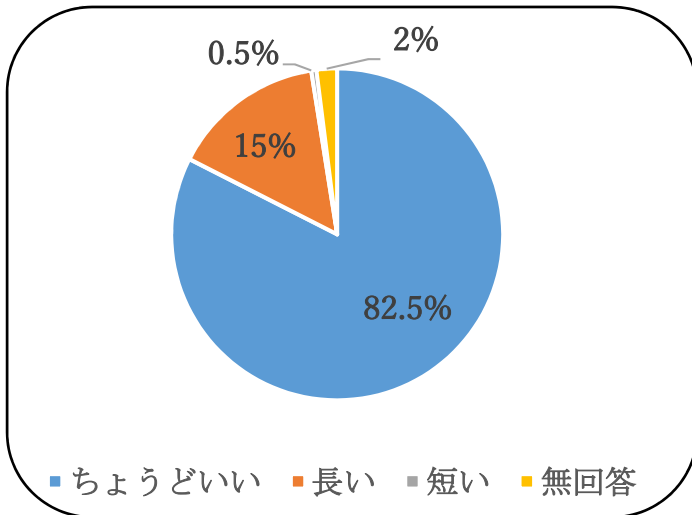


(3) 備蓄について

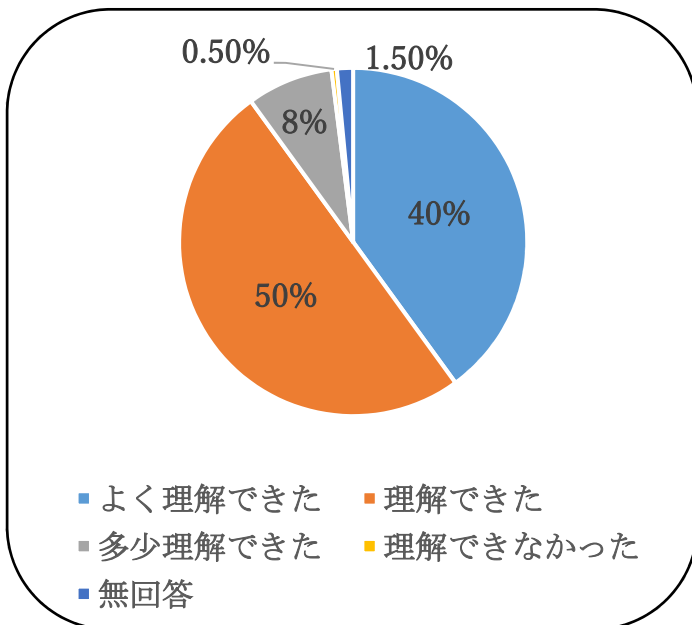


◆研修について

(1) 研修時間について



(2) 研修について



4 検討事項

(1) 参加者数について

広く市民に自助、共助の必要性を周知するために参加者を正副総代、正副隊長、また避難所での多様な考え方が重要という観点から女性の参加を依頼しました。また、避難所運営において施設管理者とのかかわりが重要であるため、各小中学校に参加を依頼しました。

女性の参加者は、425人中25人の参加であったため、参加者数を増やすための検討が必要と考えます。

(2) 地震に対するわが家の安全対策について

各家庭での安全対策についての実施率は、参加者の47.5%が対策を実施しています。さらに自助力を上げるためには、継続して研修を実施していく必要があります。また、市民全体の自助力向上を目指すとともに共助の向上につなげるためには、自主防災会リーダー研修以外でも、防災教室等で積極的に市民に周知する必要があります。

(3) 研修について

研修時間については、座学(45分から50分)、実技(20分から30分)ともに、次年度以降も概ね1時間30分程度のカリキュラムの中で実施する予定です。

アンケート結果からも、参加者の理解度は90%以上の結果を得られたため、今後も座学と実技を取り入れた研修を継続していきます。